

<第4459回>

目的地：棧敷ヶ岳（京都北山）

担当者：白神

実施日：2024年2月10日（土）

形式：雪山ハイキング

費用：¥1400（もくもく号 北大路駅-雲ヶ畑岩屋橋往復） 志明院拝観料¥400

参加者：3名

天気：曇り時々晴

行程：

北大路駅前(8:40)もくもく号⇒(9:10)雲ヶ畑岩屋橋(9:20)→(9:40)志明院→(10:05)薬師峠→(10:40)岩茸山分岐→(11:00)岩茸山→(11:40)棧敷ヶ岳(12:20)[昼食]→(12:50)岩茸山→(13:05)岩茸山分岐→(13:40)薬師峠→(14:10)志明院[拝観](14:40)→(15:00)雲ヶ畑岩屋橋(15:10)もくもく号⇒(15:35)北大路駅前[地下鉄車内にて解散]

感想：

例会一週間前に降った雪は、日に日に融けていき、前日には枚方から見える京都北山に白いものは見えなくなっていました。本格雪山は無理にしても、山頂付近にはそれなりに雪が残っているのではないかと思います。当日を迎えました。

案の定、雲ヶ畑岩屋橋に雪はなし、薬師峠にも雪の固まりがちらほらある程度。

いつもはトラバースする岩茸山へのルートに雪を求め歩き始めました。岩茸山山頂付近からは、ふかふかの新雪とはいきませんでした。雪山らしくなってきました。そこから、ザクザクと雪山の感触を楽しみながら、棧敷ヶ岳の山頂を目指しました。アイゼンやワカンはありませんでした。時々陽射しが差し込む中、棧敷ヶ岳山頂の雪の上で3人だけで静かな昼食。帰りは来た道を忠実に引き返します。薬師峠を少し下った所で、今日時点での賀茂川の最初の一滴が始まる水溜まりを発見しました。

志明院到着後まだ帰りのバスの時間に余裕があったので、志明院の見学をさせていただくことにしました。拝観料をお渡しする時に、お寺の人から境内の説明をしていただきました。境内の一番奥の方、岩の割れ目から賀茂川の最初の一滴が落ちる場所があるのですが、その水が今年は涸れたとか。山の環境が年々変わっていている証しなんではないでしょうか。

志明院は時々京都の水の守り神としてテレビなどでも紹介されていますね。まだ観光地化されていなくて、洛北の静かな古刹といった感じでした。

岩屋橋のバス停でバスを待っていると、ポツポツと雨が、と同時にバスが到着しました。

登山中を通して、別の登山者と一人も会うことのなかった、なんだかプライベート感高めの登山でした。